



# 地域おこし協力隊年度活動報告レジュメ

---

文化芸術を基点とした地方再生モデルの創設

2020年3月25日  
梶原涼晴

1. はじめに(「感動体験」と「地方創生」)
2. 「RADIO311～2019 部屋で見つけた希望～」興行
3. 「SORIN THE INNOCENT LORD」興行
4. 「ANJIN A NAVIGATOR OF FRIENDSHIP」興行
5. 総括と今後の展望(ムジカコンセプト)

## 1. はじめに(「感動体験」と「地方創生」)

2019年5月より臼杵市地域おこし協力隊としての活動に携わらせていただき、10カ月が経過しました。  
「文化芸術を通じた地域おこし」という使命を受け、初年度の取り組みの中で目指した成果は、

# 「感動体験」を通じて コミュニティの質を高めること

です。臼杵はもとより、今の日本は感動する機会を失いつつあるように思います。ソーシャルネットワークの普及によってコミュニティのあり方は暴力的に簡素化され、そこに繋がりはあっても混濁入り混じる膨大な情報環境のもとではほとんどの感動に値段がつけられ、本当の感動を体験することは至難の業。携帯ゲームの世界には想像を超えるクリエイティブに心動かされることもあります。その感動は携帯画面の外、すなわち私たちが生きる社会にはいつまでも出てきてくれません。でも、本当は誰も、心のどこかで「感動」を、そしてそれを直接実感できる人間味溢れるコミュニティを、求めているのではないのでしょうか。

今日の「コミュニティ」は、自己防衛と既得権益の集合体と言わざるを得ないくらい、非常にとつつきにくいものに見えます。そして仮に誰かが誰かとの関わりを求めていたとしても、彼らの行く先であり逃げ場はどこにもなく、結果、「無関心」「無気力」「無責任」に、部屋の中、携帯画面の中、自分の世界にひきこもるしかなくなってしまっているのではないのでしょうか。

だからこそ、感動がそこにあればきつと、実はとっても単純なこと、誰かを愛する心であり、生きる勇気であり、助け合う優しさであり、夢に向かう情熱を思い出し、人々は手を取り合って目の前にある困難と向き合い、それらを克服するために行動することができるのではないのでしょうか。そしてそれが、「質の高いコミュニティ」なのでは、と信じています。

ただ、もちろん理想を掲げるのは簡単ですが、これを実行に移すためには、具体的な施策が大前提になります。ということで、次項より具体的な取り組みをご報告させていただきます。



## 2. 「RADIO311～2019 部屋で見つけた希望～」興行

協力隊として取り組んだひとつめの「感動体験」は、2018年に臼杵市民会館にて好評をいただいた「RADIO311」の再演でした。2018年の初演では、海岸で主人公岬の心に起きる不思議な出来事を描いていましたが、本作では岬がひきこもる部屋でストーリーを展開、近年益々問題化している家族間、友達同士の愛情の希薄化をより浮き彫りにしたかたちで上演。隣町の津久見市から「樫の実少年少女合唱団」を招聘し、カーテンコールに参加していただき、感動のフィナーレで幕を閉じることができました。



### 東日本大震災追悼舞台公演

# RADIO 311

～ 2019 部屋で見つけた希望 ～

脚本・演出：梶原涼晴

会場：臼杵市民会館 大ホール

日時：2019年6月8日(土)18:00 / 9日(日)14:00

共催：臼杵市・臼杵市教育委員会 / 合唱参加：津久見樫の実少年少女合唱団

GROUP THEATRE

〒151-0053 渋谷区代々木 1-31-15 さくらビル 8F 合同会社ドリームシアーズアクターズクリニック内 TEL: 03-6383-4770 FAX: 03-6383-4773 email: actorsclinic.tokyo@gmail.com HP: actors-clinic.info

### 公演概要

- 演目 東日本大震災追悼舞台公演「RADIO311～2019 部屋で見つけた希望～」
- 主催 GROUP THEATRE「RADIO311」実行委員会 ■ 共催 臼杵市、臼杵市教育委員会
- 脚本・演出 梶原涼晴 ■ 音楽製作 寺田志保、長谷川彰介、海老原真二
- 製作協力 うすき女性防災士連絡協議会、DIVINE、beachwalkers、MINE プロダクション、アーティストボックス
- 日程 2019年6月8日(土)18:00～20:00 (Aキャスト/開場:17:00)  
※開演前17:15より、舞台上にて故・塩屋俊監督を偲んでレセプションを予定しております。  
6月9日(日)14:00～16:00 (Bキャスト/開場:13:00)
- 会場 臼杵市民会館大ホール (大分県臼杵市臼杵72-83 / TEL: 0972-63-7977)
- あらすじ  
生きる意味を見出せずに自室に引きこもってしまった女子中学生の岬を突如襲う激しい揺れと津波。8年前に起こったはずの東日本大震災を直接体験し、そこで出遭った招かれざる客人たちとの不思議な時間を経て、少しずつ、岬の世界は変わっていく——未来を担う若い世代に命の尊さと愛することの大切さをメッセージする。GROUP THEATRE オリジナル代表作。2016年の東京芸術劇場、2017年の伊豆映画祭、そして2018年に行われた臼杵市民会館での初演から約1年の時を経て再び臼杵に凱旋。

■ Ticket information < 発売開始日：2019年4月25日 13:00 >

- チケット：前売 2,000円 / 当日 2,500円 (全席自由)
- ご予約：CoRich チケット (<https://ticket.corich.jp/apply/99450/>)
- プレイガイド：甲斐楽器、クドウ電器、かぼす工房



■ お問い合わせ GROUP THEATRE 事務局 (渋谷区代々木1-31-15 さくらビル地下1階 合同会社ドリームシアーズ内)  
email: actorsclinic.tokyo@gmail.com / Tel. 03-6383-4770 / 担当: 大谷  
(※上記電話番号は弊社が運営しておりますアクターズクリニックスタジオ業務と共有させていただいているため、お電話でのお問合せをいただいた際、留守電になってしまった場合はお手数ですがお名前との連絡先、ご用件を残していただければ事務局より折り返しの連絡させていただきます)

### 出演者 (※A:6月8日の公演に出演、B:6月9日の公演に出演)

臼杵市内、大分県内からは現役中高生が多数出演、そして「津久見樫の実少年少女合唱団」による感動のフィナーレをお届けします！

山口由莉 (B)	荒川裕羽 (A)	小松吉 (A)
森重里沙 (B)		




### 3. 「SORIN THE INNOCENT LORD」興行

協力隊として取り組んだふたつめの「感動体験」は、臼杵に深い縁のある大友宗麟を主人公にした舞台「SORIN THE INNOCENT LORD」の興行です。企画、脚本、演出、主演のすべてを担い、殊脚本に関しては、資料に残る史実を単に辿るのではなく、現代への希望に繋がるメッセージを積極的に探り、推測し、描き上げました。ここで、本編の重要なメッセージを担う立花道雪が宗麟に遺した言葉、そして死を目前にした宗麟の最期のモノローグを、改めてご紹介させていただきます。



■立花道雪が宗麟に遺した言葉(本編より抜粋):「いくら国を守るためとはいえ、人を斬るのは気持ちの良いものではない。同じく国を守るという大儀を背負ってわしに斬られた何千の魂が、わしを奈落へと引っ張っておる。その重みに耐えきれなくなった……耳川で討死した者たちを追っていればよほど武士らしく死ねたのだが……お主が夢見る戦なき国なるものを、どうしてもこの目で見てみたかったんじゃ……耳川の時より筑前に攻め来る島津はことごとく叩き斬ったが、やはりわしもただの人、雷神とはいかぬ。わしごとき一介の武士には、世は動かせん……これでしまいじゃ。だが、お主は違う。命あるうちに、その大儀、成就するんじゃ。それがムジカ国でもキリスト国でも神の国でも、何でもよい。戦なき国を、お主が、つくるんじゃ。世は戦国と人は申すが、わしは実のところ、人と人が殺し合うのは世のせいではないと思っておった……人の、性なのだ。人がもともと殺し合うために生まれてくるならば、いくら戦を否定しても、焼け石に水。だがお主はそこに真水を注ぎ続けた……」

■宗麟最期のモノローグ(本編より抜粋):「わかったぞ、この胸の痛みの正体が……愛を知り、受け入れ、そしてそれを失うさだめを知ったことへの痛みだったのだ……この痛みこそ、わしが生きた証……お主らは知っておったのだな、愛を知らぬわしに、それが何なのかを教えてくれた……愛とは、痛みだ……！わしはこれで満足して死んでいくのか……いや、痛みをおしてでもこの世でやるべきことがある……もう神も仏もいらぬ、教えが世界をひとつにすることなど、この先も起こり得ぬのだ、それをわしは今ようやく知った。わしにはこの生涯で出逢ってきた者たちの想いだけ、それだけで十分じゃ。わしはお主らと、この世とあの世を渡ろう。わしが生きながらにして神となり、時を動かし、戦なき国をつくってみせる、後世に続く、戦のない、愛に溢れた国じゃ、ムジカ国をつくってみせる！」



本作における大友宗麟が、愛の宣教師のような存在ではなく、まさに「愛そのもの」を象徴しているということは、上記の言葉からもご理解いただけるのではないかと思います。彼は死を目前にして、彼自身が無意識のうちに内包していた愛を、生涯に亘って彼を支えてきた家臣や妻たちという鏡を通じて遂に知る、という物語です。RADIO311に続き、多くの臼杵市民に感動を与えられたはずと感じています。

**今後も、本作の全国展開を通じて、臼杵＝歴史が息づく文化芸術のまち、  
といった認知を継続的に獲得していきたいと考えています。**

## 4. 「ANJIN A NAVIGATOR OF FRIENDSHIP」興行

そして現在、協力隊として取り組んでいる三つ目の「感動体験」が、日蘭交流420周年・三浦按針没後400年記念舞台公演「ANJIN A NAVIGATOR OF FRIENDSHIP」です。コロナウィルス流行の影響で、三浦按針の命日である5月16日を皮切りとした公演は残念ながら延期となってしまっておりますが、臼杵のみならず、現在日本中、ひいては世界中で「不要不急」の象徴としてみなされ、後回しにされてしまっている文化芸術の復権・復興のために、そして何より今後益々混迷していくであろう世界のために、最高の作品、最高のパフォーマンスをつくりあげ、臼杵から、世界中に、人間が本来備えている「優しさと強さ」を届けたい、と願っています。





## 6. おわりに(本プロジェクトの理念)

協力隊として活動を始めてから10ヵ月が経過しました。

世界中が厳しい環境ではありますが、「ANJIN」の開催を何とか実現し、これをひとつの契機として、臼杵市に質の高さを世界中に誇れる演劇団体「劇団ムジカ」を立ち上げたいと考えています。

MUSICA  
THEATRE

2年目も、3年目も、そして5年後も、10年後も、ここ臼杵の地を人生の拠点として、日本に、ひいては世界に、芸術文化を通じて、愛と感動をもういちど思い出してもらえるように、アーティストとして、クリエイターとして、そして人間として、生涯をかけて取り組んで行こうと思います。

芸術で世界は変えられる。ムジカコンセプト。

次年度も引き続きご指導ご支援の程宜しくお願い致します。

ムジカ、とは、ラテン語で音楽、という意味です。  
戦国時代に九州六ヶ国を治めた大名、大友宗麟が建国を夢見た国は、ムジカ国。  
誰もが平等に、健全に過ごすことができ、  
誰もが平等に、幸せになる権利がある、そんな国。  
彼は実際、領内に無料の病院や孤児院を建設するだけではなく、  
日本で初めて西洋音楽や西洋演劇を取り入れたそうです。  
隣国との間では矢弾が日々飛び交う中であったにもかかわらず、  
彼が音楽や演劇をはじめとした芸術を積極的に奨励したのは何故でしょう。  
それは、健全な国づくり、ひいては人の幸せには、  
芸術が不可欠だ、ということを知っていたからなのではないでしょうか。  
今、戦国時代よりも無秩序に、  
お金や情報という矢弾が私たちの周りを飛び交っています。  
そして芸術への純粋な興味や情熱は、  
それら無秩序な矢弾に当たっては砕けています。  
でもそのままでは、いつか私たちは、  
芸術はおろか、幸せとは一体何だったのかを忘れてしまう。  
だから今、少しずつ、少しずつ、つくってきたい。  
芸術がまずそこにある環境を。  
それがまっとう、ひとをつくり、まちをつくり、あしたへと繋がっていくはず。  
芸術で世界は変えられる。  
ムジカコンセプト。

ART CAN CHANGE THE WORLD

GROUP THEATRE

グループシアターは、大分県臼杵市、静岡県伊豆市土肥町での活動をはじめ、  
演劇を通じたひとづくり、まちづくりに積極的に取り組んでいます。

ムジカコンセプトに関するお問合せ：ムジカコンセプト東京事務局（株式会社 DIVINE 内）  
〒107-0062 東京都港区南青山 4-25-14 2F TEL：03-5962-7592 FAX：03-5962-7593 Mail：info@divinejpn.com